



# まるこやま だより

磨練 慈愛 鍛錬

第7号

2020年6月5日

女川町立女川中学校だより 文責：熊谷 岳哉

## 女川中の生徒たち

### 一週間頑張りました。

女川中学校が再開して、一週間が経ちました。身体や生活のリズムが慣れない中、みんなよく頑張ったと思います。お陰様で、本当に少しずつですが、これまでの学校生活に戻りつつあるようです。週末の休みには、身体をよく休め、一週間の疲れを整えてから、月曜日、また元気に登校してきて欲しいと思います。

## 学校写真館



英語の授業（1年生）



音楽の授業（3年生）



技術の授業（2年生）



国語の授業（1年生）

※ 技術の授業（2年生）では、人類の歴史～生活と暮らしの学習の中で、お米の銘柄いくつ知っていますか？という質問もありました。ササニシキ、伊達正夢、あきたこまち、つやひめ、ひとめぼれ・・・残念ながら、あまり多くは出てこなかったようです。

## 「ペチュニアの花のお里帰り」ご存じですか！？

皆さんは、「ペチュニアの花のお里帰り」をご存じですか！？これは、「東日本大震災で避難所となっていた湊小学校に避難されていた皆さんが、丹精込めて大切に育てられた「ペチュニアの花」の種子を長野県の松川高等学校ボランティア部の皆さんが、持ち帰り、自校や農家の方々等に依頼して、花を咲かせてこちらに再び送り届けるというプロジェクト、つまり、お花の「お里帰り」をするという活動です。

これまで8年間、松川高等学校の先生とボランティア部の生徒さんが、バスで女川中学校にも訪れ、お花を届けてくださっていました。それが今年は、新型コロナウイルス感染症の関係で、叶わなくなってしまいました。

ところが、「なんとかお花だけでもお届けしたい！」というボランティア部のみんなのお心遣いで、ペチュニアのお花が届いたのです。



松川高等学校から届いたお花



生徒たちの心を温かくしてくれます。



みんなでプランターに移しました。  
「緑化整美委員会」



みんなでプランターに移しました。  
「緑化整美委員会」

松川高等学校の皆さん、そして、長野県のお花農家の皆さん  
どうもありがとうございました。